

講師料について

講師料・原稿料は、課税対象となります。これは本来講師が納めるべき税金であります。大阪府士会事務局が代行して税務署に納金を致します。この趣旨をご理解いただき、下記に示す「領収書作成上の注意」・「講師納税の資料」を作成してください。

《規定による講師謝金》

生涯学習センター講師謝金・受講費規定(3頁目以降)参照

《領収書作成上の注意》

1. 領収書の額面は、講師料に税金額を加算したものとします(つまり、税込み金額になります)。この時、額面上の金額と実際に講師に支払われる金額とは異なりますので注意してください。
2. その額面の算出方法は、**講師料÷0.8979**とする。
(例: ¥5,000の講師料であれば ¥5,000÷0.8979=5,568.548...→¥5,568となり、1円未満の端数を切り捨てた金額となります。)
3. 領収書の但し書きには、講師料額と税金を必ずご記入ください。
4. 発行年月日を必ずご記入ください。
5. 領収書には、講師の住所・氏名・捺印を必ずご記入ください。特に、当日「**印鑑がない**」ということのないように事前に講師にご連絡をして下さい。
6. 収入印紙は収入があった者が貼るものです。従って、支払い側が貼る必要はありません。
7. 税金の納付については、**月末の翌月10日**です。速やかに講師料に関する資料を作成して税金と共に士会事務所に送付して下さい。また、講師料に関する資料は次頁を参照してください。
(納税が遅れた場合は、延滞金が発生する場合がありますのでご注意ください。)
8. 領収書の作成方法は、下記の見本を参照してください。

【記入例】

『(公社)大阪府理学療法士会』と記入してください

日付の記入もれがないようにしてください

領収書	様	年 月 日
¥ 税込み額		
但. 講師料〔税抜き金額〕 税〔税金額〕		
講師住所・郵便番号		印
講師氏名		

住所は勤務地でもかまいませんが、なるべく**自宅の住所**でお願いしてください。

講 師 料

	日 付	内 容
講習会		
研修会		

☆住所は勤務地でもかまいませんが、なるべく**自宅の住所**でお願いしてください。

講師名	日 付	郵便番号	住 所	講師料 (税込)	税金
〇〇 〇〇	H〇年〇月〇日		大阪府〇〇市〇〇町〇丁目〇—〇	33,333	3,333
			☆必ず、税込み金額を記入ください。 (1円未満切捨て)		
計					

部 名 _____

部長名 _____ 印

**一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センターおよび市区町村士会が主催する
研修会・講習会等における講師謝金および受講料に関する規程**

(目的)

第 1 条 本規程は一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター（以下「生涯学習センター」という）および市区町村士会の事業に伴う講師謝金の支払いとその受講料に関して必要な事項を管理し定めるものである。

(講師謝金の支払い)

第 2 条 生涯学習センターは、生涯学習センターが主催する研修集会、学術大会、研修会、講習会、講演、講義、実習又は実技講習等の講師に対して、基準の範囲内で支払う。

2 市区町村士会研修事業は以下のように区分し、①および②の事業に対し基準の範囲内で支払う。尚、③の事業については別途定める。

- ① 生涯学習ポイント（10 ポイント）申請研修
- ② 市区町村士会独自事業
- ③ 新人教育プログラム事業

(講師の種類と基準講師謝金額)

第 3 条 講師は理学療法士と、それ以外に分ける。

2 理学療法士の場合、その理学療法士は原則的に日本理学療法士協会会員であること。

3 講師謝金の金額は講師の種類により次の基準により分類する。ただし講師を担う時間は 1 コマ 90 分を原則とする。

4 講師謝金基準を以下のように定める（税別）。ただし、1 コマ＝90 分 の金額とする。

理学療法士

事業主催	前期研修修了者	登録理学療法士	認定・専門理学療法士
学習センター	—	20000円以下	30000円以下
① 市区町村士会生涯学習 ポイント(10ポイント)申請研修	—	20000円以下	30000円以下
② 市区町村士会独自事業	5000円以下	10000円以下	20000円以下

理学療法士以外

	金額
教授クラス	100,000円以下
准教授・講師クラス	50,000円以下
助教クラス	30,000円以下

附則 1 前期研修修了者とは、現行の新人教育プログラムが修了し、2 年以上の経験を有するものを指す。

附則 2 登録理学療法士とは、現行の新人教育プログラムが修了し、5 年以上の経験を有するものを指す。

(講義数と講師数)

第4条 2コマ以上もしくは複数名の講師の場合、講師謝金の逓減適応や按分、その適応外について次のように定める。

2 1人の講師が同一日に2コマ以上講義を行う場合は2コマ目以上の講師謝金を50%に逓減する。ただし、講師が理学療法士以外の場合、必ずしもその限りでない。

3 実技講習会等で複数名の講師や講師補助者がある場合、講師謝金をその講師や講師補助者で按分する。按分方法については主催者が事前に取り決めておくこと。この場合、第4条2項は適応しない。

(シンポジウム)

第5条 シンポジウムの講師謝金について次のように定める。

2 1シンポジウムの開催時間は90分とする。

3 シンポジストの講演該当時間は45分とみなし、基準講師謝金額（第3条4項に定めるもの）の2分の1以下の講師謝金をシンポジストに対して支払う。

4 座長に対して、交通費として別途支払う。

(受講料)

第6条 受講料は以下のように定める（非課税）。

事業主催	1コマ
学習センター	1500円以下
① 市区町村士会生涯学習ポイント(10ポイント)申請研修	1500円以下
② 市区町村士会独自事業	1500円以下

(委任)

第7条 この規程で定められていない事項およびこの規程の施行に関し必要な事項は生涯学習センター理事会の決議を経て理事長が別に定める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、生涯学習センター理事会の決議により行うものとする。

附則

この規程は令和2年4月1日から施行する。